

ナイジェリア北東部支援

ナイジェリア北東部における人道支援プロジェクト（UNDP実施案件）開始式

日時：平成28年8月16日

場所：ボルノ州マイドゥグリ市

案件概要：人道危機が発生しているナイジェリア北東部に対して、国内避難民への支援及び早期復興のための社会基盤の整備等を行うために、日本政府は計300万米ドルを拠出し、UNDPが実施機関となり、2つのプロジェクトを行うこととしました。プロジェクトの1つは「北東部における早期復興プログラムへの支援」であり、ボルノ州、アダマワ州及びヨベ州を対象として、ボコハラムのテロにより避難を強いられた人々に対する生活基盤の回復のための、農業再生、雇用創出、インフラ再構築等のための支援を行います。また「ナイジェリアにおける脱過激化、対テロ及び移民プロジェクト」は、ナイジェリアの治安機関を対象として、テロリストの訴追能力強化等を通じた対テロ能力の向上支援等を行います。

今回行われた開始式には、草桶大使が出席したほか、先方からシェティマ・ボルノ州知事のほかアフメド予算・国家開発省国務大臣、サフェルディン国連臨時人道調整官等が出席しました。



シェティマ・ボルノ州知事によるスピーチの様子



アフメド予算・国家開発省国務大臣スピーチの様子



会場の様子

開始式のあと、シェティマ・ボルノ州知事の案内でマイドゥグリ市内にある性暴力被害者を対象とした支援施設及び山羊飼育施設を訪問しました。市内の避難先から故郷へと帰還する女性や少女に対して、山羊1頭が、日常生活の再スタートの支援の一環として施設から提供されます。



性暴力被害者とのやり取り



山羊飼育施設訪問